



「2025年3月ダイヤ改正について」申し入れ提出！～その①～

JR 東労組水戸地本は2024年12月に「2025年3月ダイヤ改正について」提案を受けました。

提案では、お客さまのご利用状況に合わせた輸送力の見直しやワンマン運転拡大、常磐線特急全列車品川発着や一部列車運転区間変更など、鉄道オペレーションにかかるコストの見直しを行うことが謳われています。

今回の提案内容では、一部箇所にて当直業務にフレックスタイム制を導入することや、車掌が改札に従事することで業務執行体制を見直す等、働き方に大きな変化が伴います。また、ワンマン運転拡大や乗務範囲見直し等に伴い、車掌業務が減少することから、ジョブローテーションの確認事項を遵守することが重要と考えます。

従って、組合員・社員が安全で働きやすい職場をめざし、業務に不安なく従事することができる施策とするため、JR 東労組水戸地本は個別総対話で出された組合員・社員の意見をもとに団体交渉を行います。

要求項目

【基本関係】

- ①今施策では融合と連携が更に加速していくことから、安全最優先に実施することとし、働きやすい職場環境を構築すること。
- ②勝田統括センターといわき統括センターにおいて、当直業務にフレックスタイム制を導入する理由を明らかにすること。また、乗務員が業務に従事している時間帯において、異常時等の連絡体制を整えること。
- ③フレックスタイム制が適用される社員と除外される社員が存在することや、労働時間管理もより複雑となることから、制度について十分な周知を行い、適正な労働時間管理に努めること。
- ④乗務行路内の「その他時間」で行う駅業務等について、乗務員から券売機案内に関して、不安な意見が出ていることから、必要な実地訓練を行うこと。
- ⑤運転士と車掌の相互運用や各統括センターにおける複数担務を新たに担う場合、必要な教育・訓練を行うこと。また、本人が不安に感じる場合は見習い期間の延長や追加の訓練等を行うこと。
- ⑥増収と運賃ほ脱対策のため、各統括センター総体で、特別改札や無人駅における精算業務を行うこと。
- ⑦常磐線グリーン車におけるグリーンアテンダントの不乗区間が発生した経緯を明らかにすること。また、各統括センターにおいて、乗務員にグリーンアテンダントの乗車列車や乗車区間を周知すること。
- ⑧いわき駅での常磐線特急列車の車両運用について、列車遅延が回復しやすいように現行1時間折り返しを2時間折り返しに変更すること。
- ⑨今施策に伴う異動が発生する場合、ジョブローテーションの趣旨に則り、本人希望を尊重すること。